

「いま、ヤバくないか、日本」

民主国家のはずの日本の土台が崩されて行く…

原発再稼働、自衛隊海外派兵、国民弾圧の諸法案制定、
社会福祉切り下げ、国民資産売り渡し…
ほんとニッポンは崖っぷちまで来ていると思わされます。

自民党支持が森友事件でも落ちないのは、
平穏な日々の暮らしが続いている間は気に留めていないからでしょう。
でもあきらめるわけにはいかない。

諸国の民衆はどう戦っていったかを知るのは元気がでますよね。

- 講師：伊藤千尋氏
- 日時：2017年5月6日(土) 13:00～15:00 (開場 12:45)
- 場所：青葉区区民活動支援センター (田奈ステーション)
第2, 3会議室 (東急田園都市線 田奈駅 隣接)
- 資料代：500円
- 主催：ビジョン21

●伊藤千尋 (いとうちひろ) さん プロフィール

1949年、山口県生まれ、東大法学部卒。74年、朝日新聞に入社し外報部などを経てサンパウロ支局長(中南米特派員)、バルセロナ支局長(欧州特派員)、ロサンゼルス支局長(米州特派員)を歴任。2014年からフリーの国際ジャーナリスト。これまで78か国を現地取材した。NGO「コスタリカ平和の会」共同代表、「九条の会」世話人

著書に『反米大陸』(集英社新書)、『燃える中南米』(岩波新書)、『今こそ問われる市民意識』(女子パウロ会)、『キューバー超大国を屈服させたラテンの魂』『観光コースでないベトナム』(高文研)、『一人の声の世界を変えた』『辺境を旅ゆけば日本が見えた』(新日本出版社)、『地球を活かすー市民が創る自然エネルギー』『活憲の時代』(シネフロント社)、『太陽の汗、月の涙』(すずさわ書店)など。

